

令和 7 年度

仕様書

委託業務名：R 7 住宅 中吉野町団地他 徳島市他 照明設備改修設計業務

徳島県県土整備部住宅課

仕様書

1 設計内容

本仕様書に記載されていない事項は、「公共建築設計業務委託共通仕様書」（平成 20 年 3 月 31 日国営整第 176 号 最終改正令和 6 年 3 月 26 日国営整第 213 号）による。

(1) 設計は、次表のうち、○印を付したものに関する業務を行うものとする。

業務の内容は、令和 6 年国土交通省告示第 8 号別添一第 1 項第二号イに掲げるもの及び 5 (2) に示す成果品の作成にかかるものとする。ただし、「建築確認申請」を「計画通知」と読み替えるものとし、計画通知が不要な場合は、それに関する業務を除くものとする。

	建築設計		敷地造成設計
	建築構造設計		屋外附帯設計
○	電気設備設計	○	積算
	機械設備設計		

(2) 目標とする工事額（直接工事費） 338,000,000 円

(3) 工事施工予定期間 着工の日より 180 日間の予定

(4) 設計書は次の工事別に作成する。

別紙による

その他、県が指示する工事区分とする。

2 業務担当技術者の種別及び資格等

業務担当技術者は次のとおりとする。

業務着手前にあらかじめ業務計画書及びスケジュール管理表（以下「管理表」という。）を作成し、監督員へ提出しなければならない。

なお、業務計画書の内容を変更する場合は、理由を明確にしたうえ、その都度監督員に変更業務計画書及び管理表を提出しなければならない。

(1) 管理技術者（1名以上）

管理技術者は、建築設備士の資格を有し（ただし、一級建築士又は設備設計一級建築士の資格を有し発注者の承認を得たときは、この限りでない。）、かつ対象業務全般について掌握し、設計業務について高度の技術・経験及び能力を有するものとする。

(2) 主任担当技術者（建築担当技術者、設備担当技術者 各 1 名以上 ただし、原則として上記(1)以外の者とするが、発注者の承認を得たときは、この限りでない。）

主任担当技術者は、その業務内容を充分に理解し、設計業務に精通すると共に、設計業務について相当の経験と能力を有するもので、大学卒業後 5 年以上又はそれと同等の経験を有するものとする。

3 設計の進め方

- (1) 監督員の指示に基づき、基本計画を反映させたプランを作成し承認したうえで、原則として履行期間の1/3以内の日までに中間報告会を実施し、その結果により具体的な設計に着手しなければならない。
なお、基本計画には、原則として、次の内容を盛り込むものとし、記載方法や資料の内容については、事前の監督員との協議（指示）によること。
- （ア）条件整理
- ・法令・既存施設に関する諸条件の整理、施設管理者の要望の整理及び現地調査結果の報告
- （イ）全体計画案の作成 ※平面図等に計画案を具体的に記載すること
- ・条件整理を踏まえた改修内容の検討
- （ウ）工事計画案の作成
- ・工程・工期、仮設計画の検討
- （エ）工事概算金額の提示
- （オ）設備仕様案の作成
- (2) 設計業務等の実施に当たり、現地踏査、文献等の資料収集、施設管理者への聞き取り調査を実施し、設計等に必要な現地の状況を把握し、その結果の取りまとめを行わなければならない。
- (3) 建築物の敷地、構造及び建築設備に関する法律等並びにこれに基づく命令及び条例の規定等を遵守するほか、県の定める工事標準仕様書、各種設計基準及び標準図等に基づいて設計を進めなければならない。
- (4) 工事実施時に支障となることがないよう、県、官公署及びその他関係機関等との打ち合わせを緊密に行い、結果について書面に記録し、監督員へ報告するとともに、その内容について相互に確認したうえ、文書で保存しておかなければならない。
(例： 建築主事、消防署、上水・下水管理者、電力・電話・ガス会社等)
- (5) 目標とする工事額は、経費を除いた直接工事費の額とし、建築工事及び設備工事の合計額が、この範囲内に納まるよう設計を進めなければならない。
- (6) 業務の進捗状況を管理表により管理し、監督員へ報告すること。
また、工程表の実施工程を更新の上、毎月5日及び監督員が指示する時期までに監督員へ報告すること。
- (7) 設計業務等を適正かつ円滑に実施するため、業務の方針、進捗状況等を監督員へ書面にて報告し、その内容について相互に確認しなければならない。
また、関係者との打ち合わせ事項等については、議事録を作成し監督員に提出しなければならない。
- (8) 建築及び設備の設計工程を明確にし、設計作業が円滑に進むよう各設計担当者相互の連絡を密に取らなければならない。
- (9) 管理表に修正がある場合は、監督員へ書面にて報告し、指示に従わなければならない。
- (10) この要領に明記されていない事項があるときは、監督員と協議して定めること。

4 設計図書の作成

- (1) 設計図書の用紙の大きさ、書式、構成及び編集方法等は、監督員の指示によること。
- (2) 設計図書には、全て氏名及び建築士登録番号を記入すること。
- (3) 積算書、構造計算書等の書式は独自のものを使用してよい。（ただし、A4版ファイルを原則とする。）

5 提出する設計図書等

(1) 設計が完了したときは、設計図書（図面及び設計書並びに構造、負荷及び流量計算書等）の焼図及び数量計算書等を監督員に提出し審査を受けること。また、訂正の指示があった場合は、訂正を行った後、設計図書の原図を引き渡すこと。

(2) 成果品

次表のうち、○印を付したものを、指定部数提出する。

	種類	数量等	備考
○	設計図書（二つ折製本）	上記図面の製本 (工事別各3部)	製本の大きさは、監督員の指示による こと。
○	設計図書（電子データ）	次に掲げる設計図書一覧表 1～3のうち、○印を付し たものの図面一式をCD-R またはDVD±Rに保存 (正・副1部)	図面サイズは、監督員の指示による こと。 (注1)
○	設計書	R I B C 内訳書データ 白焼き1部	内訳書データは、設計図書（電子データ）と 同じ電子媒体に保管しても良い。
○	数量計算書	原稿一式	数量調書、単価調書及び見積書等
○	設計計算書	P D F データ 白焼き1部	(注2) P D F データは、設計図書（電子データ）と 同じ電子媒体に保管しても良い。
○	・リサイクル計画書（積算段階） ・資材使用調書 ・構造計算チェックリスト ・ユニバーサルデザインに関するチェックリスト ・石綿含有調査に係る報告書及び石 綿含有書面調査結果整理票	白焼き1部又は電子データ	電子データによる場合は、設計図書 (電子データ)と同じ電子媒体に保管 しても良い。
	透視図 (写真撮影含む。)	外観()枚、内観()枚 〔カット枚数()、判の大きさ ()、白黒・カラーの別()、電子 データの有無()〕	鳥瞰、方向等は監督員の指示による。 〔種類()、判の大きさ ()、枚数()、額の有無 ()、材質()〕 〔カット枚数()、判の大きさ ()、白黒・カラーの別()、電子 データの有無()〕
	模型 (写真撮影含む。)		縮尺、ケースの有無等は監督員の指示に による。 〔縮尺()、主要材料()、 ケースの有無()、材質()〕 〔カット枚数()、判の大きさ ()、白黒・カラーの別()、電子 データの有無()〕

	計画通知書他	必要部数	通知書及び関係図書 手続業務及び手数料を含む。 構造計算適合性判定及び建築物エネルギー消費性能適合性判定が必要な場合は、手数料を含む。
	消防法による届出書	必要部数	使用開始届及び関係図書 手続業務を含む。
	都市計画法適合証明	必要部数	手続業務及び手数料を含む。
	シリング材種判定及びP C B 含有分析の要否判定報告書	1部	
	外壁仕上げ材アスベスト含有分析調査報告書	3部	調査個所数 () 分析方法は J I S A 1 4 8 1 - 1 による。
	B I Mデータ説明資料	別紙1による	
○	関係法令等に基づく各種申請書の作成及び申請手続業務 防災計画評定又は防災性能評定に関する資料の作成及び申請手続業務 営繕事業広報ポスターの作成 災害応急対策活動に必要な施設その他特別な性能、機能、設備等を有する官庁施設の設計等における特別な検討及び資料の作成 建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律（平成27年法律第53号）第12条第2項に規定する建築物エネルギー消費性能適合性判定に係る業務及び同法第29条第1項に規定する建築物エネルギー消費性能向上計画の認定に係る業務 建築物総合環境性能評価システム（CASBEE）による評価に係る業務 官庁施設の計画から建設、運用、廃棄に至るまでのライフサイクルを通じた二酸化炭素排出量等を用いて行う総合的な環境保全性能の評価業務 実験設備に係る検討 内部雷保護設備に係る検討 構内情報通信網設備に係る検討 排水処理設備に係る検討 雨水・排水再利用設備に係る検討 蓄熱システムに係る検討 雪冷房設備に係る検討 徳島県脱炭素条例に基づく建築物環境配慮計画書の作成及び提出業務	必要部数	・各種申請書の作成等 (標識看板の作成、設置報告書の届出) ・災害応急対策活動に必要な施設 (建築非構造部材の耐震安全性に関する特別な検討、特殊な設備機器を有する室の設計に係る特別な検討等)
○	その他監督員の指示するもの		

(注1) 図面データのファイル名は、日本語とする。

CD-R等電子媒体に、

- PDFデータ
- CADデータのファイル形式が、SFC形式のファイルのもの（県の標準CADソフトであるJw_cadで開いた際に文字化け等の不具合が発生しないことを確認すること。）
- CADデータのファイル形式が、使用したCADのオリジナルのファイル形式のもの（ただし、jww・dxf・dwg形式に限る。）

を保管するものとし、それぞれをフォルダを別にして、整理して保管すること。

図面の表題欄の寸法及び様式は、「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築事業設計業務編】」の付属資料3による。

CD-R（DVD-R）への書き込み後の電子成果物について、最新のウイルス定義データを用いてウイルスチェックを行い、コンピュータウイルス等が無く、安全であることを確認すること。

電子媒体を収納するケースの背表紙には、「委託業務名」、「作成年月」を横書きで明記すること。
なお、業務名が長く書ききれない場合は、先頭から書けるところまで記入すること。

電子媒体への記載項目は、原則直接印刷とし、表面に損傷を与えないよう注意すること。

その他の事項については、「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築事業設計業務編】」の6.3電子媒体記載事項による。

(注2) 設計計算書のうち構造計算書については、国土交通大臣認定プログラムにより計算を行うこと。

設計対象建築物を計算可能な認定プログラムが存在しない等の理由で、監督員の承諾を得た場合には、認定プログラム以外での計算を認めるが、額の変更対象としない。

(3) 成果品の取り扱いについて

提出された設計図書（電子データ）については、当該施設に係る工事の受注者に貸与し、当該工事における施工図の作成、当該施設の完成図の作成及び完成後の維持管理に使用することがある。

設計図書一覧表 1

種類	備考	種類	備考
A. 共通設計図		B. 敷地造成設計図	
○ 1. 表紙		1. 敷地測量図	
○ 2. 図面目録		2. 敷地平面図	
○ 3. 営繕工事共通仕様書	Excel 形式 または営繕課 指定の様式	3. 縦横断面図	
○ 4. 特記仕様書	Excel 形式 または営繕課 指定の様式	4. 擁壁詳細図	
○ 5. 配置図、附近見取図			
6. 支障物件確認図			
7. 面積表、面積計算書			
8. 概略工事工程表			
9. 仮設計画図			

設計図書一覧表 2

種類	摘要	種類	摘要
C. 建築設計図		D. 電気設備設計図	
1. 内外仕上表		1. 変電設備機器配置図	
2. 各階平面図		2. " 系統図	
3. 立面図 (改修面)	○	3. 電灯設備各階平面図	
4. 断面図		4. " 幹線平面図	
5. 軸組図	○	5. " 平面詳細図	
6. 基礎伏図	○	6. " 器具取付詳細図	照明器具姿図
7. 床伏図 (2面)		7. 電灯設備系統図	
8. 小屋伏図		8. " 集合計器盤	
9. 梁伏図		9. " 分電盤	
10. 天井伏図		10. " 器具取付表	
11. 屋根伏図		11. " 予備電源設備図	
12. ペントハウス		12. 動力配線設備平面図	
13. 平面詳細図 (2面)		13. " 系統図	
14. 矩計詳細図		14. " 制御盤図	
15. 階段詳細図		15. 電話配管各階平面図	
16. 各部詳細図 (2面)		16. " 系統図	
17. 室内展開図		17. " 端子盤図	

	18. 建具表		18. 火災報知器設備各階平面図	
	19. 構造伏図		19. " 系統図	
	20. 床梁及び壁リスト		20. " 機械図	
	21. 床板・階段・基礎配筋図		21. 放送設備各階平面図	
	22. ラーメン配筋図		22. " 系統図	
	23. ブロック配筋図		23. テレビ聴視設備各階平面図	
	24. 防火壁		24. " 系統図	
	25. 山留め、水替詳細図		25. " 機器図	
	26. 日影図		26. 避雷針配線及び取付図	
○	27. その他必要な図面		27. 電鈴設備各階平面図	
			28. " 系統図	
			29. " 機器図	
		○	30. その他必要な図面	

設計図書一覧表 3

種類	摘要	種類	摘要
E. 機械設備設計図 (給排水、衛生、ガス、空調、 冷暖房)		F. 屋外附帯設計図	
1. 衛生設備各階平面図		1. 外柵門扉平面図及び詳細図	
2. " 系統図		2. 造園植栽平面図及び詳細図	
3. " 詳細図		3. 道路平面図及び詳細図	
4. 消火栓設備各階平面図		4. 雨水排水平面図及び詳細図	
5. ガス設備各階平面図		5. 公園平面図及び詳細図	
6. 受水槽詳細図		6. 構内舗装図	
7. 高置水槽詳細図			
8. し尿浄化槽詳細図			
9. 換気設備各階平面図			
10. " 系統図		G. 設計計算書	
11. " 詳細図		1. 構造計算書 (構造計算チェックリスト含む)	
12. 冷暖房設備各階平面図		2. 設備構築物構造計算書	
13. " 系統図		3. 給水流量計算書	
14. " 詳細図		4. 排水 "	
15. 空気調和設備各階平面図		5. 凈化槽容量計算書	
16. " 系統図		6. 換気量計算書	
17. " 詳細図		7. 暖房負荷計算書	

18. エレベーター設備平面図			8. 冷房〃	
19.〃 機械室詳細図		<input type="radio"/>	9. 電圧降下計算書	必要があれば
20.〃 カゴ詳細図		<input type="radio"/>	10. 照度計算書	
21. シャフト詳細図				
22 その他必要な図面				

6 貸与する図書及び資料

次表のうち○印を付したものを貸与するので、適切な保管に努めること。また、貸与品は、成果品の引渡しの際に、すみやかに返却すること。

種類	摘要	種類	摘要
1. 敷地測量図	<input type="radio"/>	6. 各種設計資料	
2. 設計計画図書		7. 基本設計	
3. 地質、地盤調査資料	<input type="radio"/>	8. 既存図面 (CADデータ) ※建築平面図	
4. 各種設計基準図	<input type="radio"/>	9. 既存図面 (紙媒体)	
5. 各種標準図		10. 既存図面 (BIMデータ)	

7 再委託

- (1) 受注者は、設計業務における総合的な企画及び判断並びに業務遂行管理部分を、契約書の規定により、再委託してはならない。
- (2) 受注者は、コピー、ワープロ、印刷、製本、計算処理（構造計算、設備計算及び積算を除く）、トレース、資料整理、模型作成、透視図作成等の簡易な業務を第三者に再委託する場合は、発注者の承諾を得なくともよいものとする。
- (3) 受注者は、第1項及び第2項に規定する業務以外の再委託に当たっては、発注者の承諾を得なければならない。
- (4) 受注者は、設計業務を再委託する場合は、委託した業務の内容を記した書面により行うこととする。なお、協力者が発注機関の建設コンサルタント業務等指名競争参加資格者である場合は、指名停止期間中であってはならない。
- (5) 受注者は、協力者及び協力者が再々委託を行うなど複数の段階で再委託が行われるときは当該複数の段階の再委託の相手先の住所、氏名及び当該複数の段階の再委託の相手方がそれぞれ行う業務の範囲を記載した書面を更に詳細な業務計画に係る資料として、監督員に提出しなければならない。
- (6) 受注者は、協力者に対して、設計業務の実施について適切な指導及び管理を行わなければならない。また、複数の段階で再委託が行われる場合についても必要な措置を講じなければならない。

8 設計対象建物及び設計概要

設計対象建物及び設計概要は次表による。なお、設計過程において疑義が生じた場合はすみやかに監督員へ報告し、その解決を図るものとする。

所在 地	別紙のとおり	
名 称	設 計 概 要	備 考
県営住宅	<p>＜設計概要＞</p> <p>県営住宅の住棟の共用部（廊下、階段）及び住戸内の照明器具の更新に係る設計業務一式</p> <p>※既存蛍光灯器具をLED等に更新する。</p> <p>（1） 設計対象となる住棟は別紙のとおり</p> <p>◎ 施設運営及び各工事間の取合いを考慮した概略工事工程表を作成し、設計図に盛込むこと。なお、施設運営に影響を及ぼす工程（はつり・停電・断水等）については、工事手順を詳細に記載する等、工事着手後の工程検討が円滑に行えるよう配慮すること。</p>	

9 設計委託履行期間等

- (1) 履行期間 契約書による。

10 その他委託上の条件

- (1) この設計の成果物の著作権は、引渡し時より県に帰属するものとし、県において必要に応じ設計内容の変更を行うことができるものとする。
- (2) 工事実施にあたり、設計内容に疑義が生じた場合は、受注者は責任ある回答を行わなければならない。また、当該問題の解決のため現場指導を求められた場合は、担当者を現地に派遣しなければならない。
- (3) 工事実施にあたり、受注者の責めに帰する事由により設計変更の必要が生じたときは、監督員の指示により、受注者において設計変更図書の作成を行わなければならない。
- (4) 建築計画通知書、消防法による諸届及び法令に定められた諸手続きは、受注者においてすみやかに行うものとし、その内容を監督員へ報告し、必要な協議を行うものとする。
- (5) 構造計算書は、営繕課指定の構造計算書チェックリストにより確認すること。
- (6) 年度末及び部分引渡し時には、各年度の契約額の範囲内で部分引渡しに係る委託業務料の支払いを請求することができる。

設計委託業務 位置図



R 7 住宅 中吉野町団地他 徳島市他 照明設備改修設計業務 対象団地

業務概要：住棟の共用部（廊下・階段）及び住戸内の照明器具の更新に係る設計業務
 ※既存蛍光灯器具をLED等に更新する

別紙

団地番号	団地名	団地戸数	号棟	管理開始	戸数	階	延べ面積(m ²)	住所	設計書に使用する施工場所
5	中吉野町	42	1号棟	H14	42	5	2828.59	徳島市中吉野町3丁目1-4	徳・中吉野
7	南二軒屋一の坪	60	1号棟	S60	12	3	786.93	徳島市城南町1丁目 7番16	徳・城南
			2号棟	S60	12	3	786.93	7番18	
			3号棟	S58	12	3	837.3	7番22	
			4号棟	S60	12	3	813.93	7番24	
			5号棟	S60	12	3	756.84	7番26	
8	矢三高見	28	1号棟	S57	16	4	1087.54	徳島市南矢三町2丁目8番11	徳・南矢三
10	矢三野神本	60	2号棟	S57	12	3	815.65		徳・南矢三
			1号棟	S56	20	5	1212.38	徳島市南矢三町3丁目 5番33	
			2号棟	S57	20	5	1344.85	5番28	
14	北島田町	88	3号棟	S58	20	5	1344.85	5番20	徳・北矢三
			1号棟	H3	16	4	1112	徳島市北矢三町4丁目 2番19	
			2号棟	H3	24	4	1674.24	2番23	
			3号棟	H5	13	4	860.6	2番26	
			4号棟	H5	23	4	1508.32	2番29	
15	名東町	130	5号棟	H5	12	4	809.36	2番45	徳・名東
			1号棟	S60	20	4	1303.4	徳島市名東町2丁目408	
			2号棟	S60	16	4	1044.36		
			3号棟	S62	16	4	1033.42		
			4号棟	S63	12	4	756.48		
			5号棟	S61	16	4	1030.92		
			6号棟	S61	16	4	997.2		
			7号棟	S63	15	4	1006.95		
17	中島田町	96	8号棟	H2	19	4	1263.58		徳・中島田
			1号棟	S61	16	4	1166.74	徳島市中島田町4丁目160-1	
			2号棟	S62	16	4	1166.74		
			3号棟	S63	16	4	1096.7		
			4号棟	H1	16	4	1104.7		
			5号棟	H1	16	4	1096.7		
19	名東(東)	112	6号棟	H2	16	4	1096.7		徳・名東
			1号棟	H13	24	4	2057.16	徳島市名東町1丁目166-1	
			2号棟	H15	24	4	2105		
			3号棟	H15	16	4	1385		
			4号棟	H17	32	8	3237.28		
21	石井曾我	305	5号棟	H20	16	4	1054.34		石・石井
			1号棟	H4	15	3	982.26	名西郡石井町石井字石井1451-1	
			2号棟	H4	17	4	1118.34		
			3号棟	H5	24	4	1506.24		
			4号棟	H6	24	4	1506.24		
			5号棟	H6	24	4	1558.08		
			6号棟	H8	24	4	1738.4	名西郡石井町石井字城ノ内381-1	
			7号棟	H9	36	4	2557.72		
			8号棟	H11	48	8	4344.99		
			9号棟	H11	20	4	1585.18		
			10号棟	H12	24	4	1907.62		
			11号棟	H14	31	4	1979.51		
23	松茂	48	12号棟	H13	18	3	1284.39		松・満穂
			1号棟	H2	24	4	1568.16	板野郡松茂町満穂字満穂開拓20番地	
26	鴨島呉郷	369	2号棟	H2	24	4	1568.16		吉・鴨島
			1号棟	H7	24	4	1837.3	吉野川市鴨島町飯尾550-5	
			2号棟	H6	16	4	1203.81		
			3号棟	H9	24	4	1952.56		
			4号棟	H10	24	4	2169.82		
			5号棟	H10	24	4	2169.82		
			6号棟	H11	24	4	1812.96		
			7号棟	H13	24	4	1814.32		
			8号棟	H13	24	4	1814.32		
			9号棟	H15	23	4	2101.08		
			10号棟	H17	24	4	2059.18		
			36号棟	S48	30	5	1549.8	吉野川市鴨島町飯尾550-8	
			37号棟	S49	32	4	1770.56		
			38号棟	S50	32	4	1868.16		
			39号棟	S50	16	4	963.68	吉野川市鴨島町飯尾550-9	
			40号棟	S50	16	4	963.68		
			41号棟	S52	6	3	375.6		
			42号棟	S52	6	3	375.6		
32	南二軒屋神成	24	1号棟	S49	6	3	331.98	徳島市南二軒屋町神成842番地の1	徳・南二軒屋
			2号棟	S49	18	3	995.94		
34	北島	150	1号棟	S50	20	5	1106.6	板野郡北島町北村字西蛭子30番地	北・北村
			2号棟	S50	30	5	1751.4		
			3号棟	S50	30	5	1751.4		
			4号棟	S50	20	5	1106.6		
			5号棟	S50	20	5	1106.6		
			6号棟	S50	20	5	1106.6		

団地番号	団地名	団地戸数	号棟	管理開始	戸数	階	延べ面積(m ²)	住所	設計書に使用する施工場所
36	藍住幸島	110	1号棟	S51	50	5	3011.5	板野郡藍住町勝瑞字幸島130番地の1	藍・勝瑞
			2号棟	S51	30	5	1806.9		
			3号棟	S52	30	5	1870.7		
38	大麻	104	1号棟	S42	32	4	1232.88	鳴門市大麻町檜字尾山谷6-2	鳴・大麻
			2号棟	S42	24	4	924.7		
			3号棟	S42	24	4	924.7		
			4号棟	S42	24	4	924.7		
44	竜王	219	1号棟	S58	22	3	1657.52	徳島市国府町竜王 6-7	徳・国府
			2号棟	S61	13	3	1051.81	6-35	
			3号棟	S61	21	3	1492	6-1	
			4号棟	S61	16	3	1252.13	6-1	
			5号棟	S61	17	3	1275.57	6-1	
			6号棟	S60	18	3	1362.29	6-34	
			7号棟	S61	26	3	1704.55	6-35	
			8号棟	S60	22	3	1573.26	6-34	
			9号棟	S58	22	3	1548.67	6-6	
			10号棟	S58	42	12	3136.1	6-2	
45	松茂東	48	1号棟	S63	24	4	1568.16	板野郡松茂町満穂字満穂開拓55番地	松・満穂
			2号棟	S63	24	4	1568.16		
46	竜王西	70	1号棟	H2	14	3	798.88	徳島市国府町竜王8番地-1	徳・国府
			2号棟	H2	21	3	1198.32		
			3号棟	H1	10	3	225.16	徳島市国府町竜王8番地-9	
			4号棟	H1	10	3	555.79		
			5号棟	H2	9	3	490.39		
			6号棟	H2	6	3	392.46		
47	松茂西	144	1号棟	H2	24	4	1631.74	板野郡松茂町中喜来字蔵野1番地	松・中喜来
			2号棟	H2	24	4	1631.74		
			3号棟	H2	24	4	1642.16		
			4号棟	H3	24	4	1637.68		
			5号棟	H4	16	4	1105.56		
			6号棟	H4	16	4	1095.26		
			7号棟	H4	16	4	1159.22		
49	鳴門高島	48	1号棟	H9	24	4	1943.76	鳴門市鳴門町高島字北380	鳴・鳴門
			2号棟	H10	24	4	2059.46		

計 108 2255

設計書は、次の工事別に作成する。

・団地毎に共用部、住戸内の2つとする。

・名称は、「R8住宅+(団地名)+(施工場所)+1号棟等(共用部or住戸内)照明設備改修工事」とする。

共用部の例:R8住宅 中吉野町団地 徳・中吉野 1号棟等共用部照明設備改修工事

住戸内の例:R8住宅 中吉野町団地 徳・中吉野 1号棟等住戸内照明設備改修工事